

中央区、松永一雄社長)は、このほど、有機肥料入り土壌改良剤「ニームゴールド」の国内販売を開始した。

ニームはインドに生息するインドセンダンという樹木で、古来より医薬品及び天然の害虫忌避材として使用されている。

成分にアザテトラクチンを含み、一般に害虫と

はじめ、ハダニ、ナメクシ等250種類以上に効果を発揮。害虫の体内に入るとその変態を阻害し、食欲の減退、脱皮や羽化を停止させる。

同製品化にあたり、低温圧搾製法を取り入れることで、アゼテトラクチンなどのニーム特有の成分保持に成功。保水性、発根促進、肥料吸収力の3つに大きな効果を持つ。

また、紫外線による自然分解後すぐに土壌混和し、害虫がニームに対する抗体をつくる事ができる。また、焼却

同社は国内販売にあわせ、70余国のオーガニック製品の証明をおこなう

知されている。販売担当営業部は本年、国内の造園業者へ向け

溶融スラグの着色骨材開発

カラー化技術で利用価値高まる

花田技研工業(岡山県美作市、花田義和社長)は、溶融スラグを活用した着色骨材「カラスラグ」(特許出願中)を開発、需要の高まりをうけ、5月よりの生産体制の強化を図る。

同社は、ここに着目し、廃棄物質灰の溶融スラグを人工セラミックによる着色骨材原料として製品化、昨年4月に会社を設立した。

製品特長として、付着性、隠蔽性、退色性の点で従来骨材より優れ、基礎を塗りながら新たな用途開発も進めている。



「ニームゴールド」の国内写真

その後、昨年実施した風洞実験をベースに各社で試験を行い、報告書の提出と審査後、認定ラベル制度化へと動き出すという。



総会のもよう

グローベンがコ

エクステリア・緑化資材メーカーのグローベン(愛知県名古屋市長、服部崇社長)は、創立25周年記念行事の一環として「グローベン 庭演写真コンテスト2005」を実施する。

都庁・都民広場の緑化施工

国際環境デザイン協会

東京都庁・都民広場でおこなわれている「屋上緑化推進協働事業」の本年度施工業者五社が決定し、(株)国際環境デザイン協会(東京都港区、兒玉孝則代表取締役)は四月二十五日、つくし会・野沢共同作業センターのメンバーと共同で施工をおこなった。



つくし会、長野県小諸養護学校の保護者で発足し、佐久市が設置した

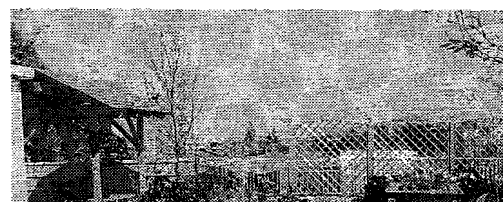
緑の効果を期待するところがある」とし、今後園芸療法を意識しつつ活動に取り入れるという。施工業者の同社・兒玉氏は、今回の経緯について「これまで植物をつくる機会が少なかった。今回、今回せつかくの機会にセンターの児童達と共同作業でできればと考え企画した」と語る。

当日はメンバー三名が関係者の指導の下、花壇などの植栽に取り組み姿が見られた。「田舎での生活から、大都会でこうした体験ができ、児童達にとって多くの効果を与えるはず」と高柳氏は語

4月11日、千葉県市川市に有料老人ホーム「プレジールヴィラ市川」(事業主 体・国分土地建物)が竣工した。施設の屋上に庭園を設け、総合企画を(株)グリーンダイナミクス、施工をグループ会社(株)ペレニアルが担当。竣工式にはグループ代表の賀来宏和氏をはじめ設計施工担当者や植物専門スタッフが解説要員として出席した。

人ホームに屋上庭園

ンダイナミクスグループが「屋外のリビング」演出



市川市内の一室を「屋上庭園」に演出する。菜も栽培する。また、居る方も身にもなる。また、居る方も身にもなる。また、居る方も身にもなる。